

1 単元名 球技（バレーボール）

2 目標

- 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームが展開できるようにする。状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開すること。
(技能)
- 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。
(態度)
- 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。
(知識、思考・判断)

3 指導に当たって（男子*名，女子*名，計*名）

本クラスは、2割程度の生徒が運動部に所属しており、それ以外の生徒も体育への関心・意欲は高く、授業の準備や片付けも協力して速やかに行うことができる。運動部所属の生徒を中心に、運動に意欲的に取り組む姿勢が見られるが、一方でボールの特性を理解しておらず、サーブやラリーなどの基本的な技能が身につけていない生徒も見受けられる。

そこで、本単元ではボールの特性を知り、基本的な技能を身につけ、ゲームでは状況に応じたプレーの選択ができるような授業を展開していきたい。

4 単元及び学習活動に即した評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ●バレーボールの学習に自主的に取り組もうとしている。 ●フェアなプレーを大切にしようとしている ●自己の責任を果たそうとしている。 ●作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ●健康・安全を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 ●仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ●作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための適切な関わり方を見つけている。 ●健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。 ●バレーボールを継続して楽しむための自己に適した関わり方を見つけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●空いた場所をめぐり攻防を展開するための役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ●バレーボールに関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ●運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ●試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・競技会や審判の方法について学習した具体例を挙げている。

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
学習活動に即した評価	<ul style="list-style-type: none"> ①勝敗を競う楽しさや喜びを深く味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高め、ゲームが展開できるようになる。 ②ルールやマナーを大切にし、スポーツの価値を高めるとともに、自己形成に役立つことを理解 	<ul style="list-style-type: none"> ① 卒業後に豊かなスポーツライフを継続するための取り組み方を工夫することができる。 ② 健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選ぶことができる。 ③ 生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見つけること。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 相手の状況に応じて、ボールに緩急や高低をつけて打ち返すことができる。 ② 仲間と連動して、コート上の空いているスペースをカバーし、攻守のバランスを維持でき 	<ul style="list-style-type: none"> ① 技能を向上させることやゲーム中に適切に發揮することが攻防のポイントとなることを理解し、それらを高めるための安全で合理的な練習について知識を深めることができる。 ② バレーボールに必要な

規 準	<p>できるようになる。</p> <p>③ 練習やゲームの際に、役割を積極的に引き受け、責任を持って主体的に取り組むことができる。</p> <p>④ 自己の体力の程度に応じて怪我を回避するための適正な運動量や怪我を未然に防ぐための留意点などを理解し、取り組むことができる。</p>		<p>る。</p> <p>③ ボールをコントロールして拾ったりつないだり打ち返したりできる。</p>	<p>体力を技能に関連させながら高めることが重要であることを理解できる</p> <p>③ 自己に応じた目標設定、課題設定、運動の実践、成果の確認、新たな目標設定といった家庭があることを理解できるようになる。</p>
--------	--	--	--	---

5 指導と評価計画（12時間扱い）

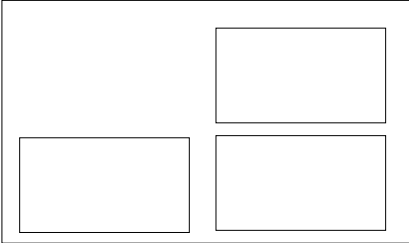
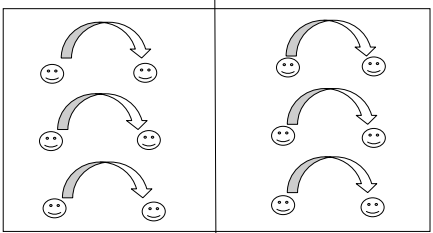
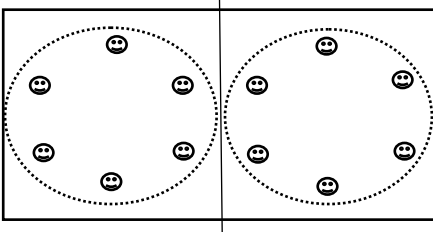
	学習のねらい・活動	評価計画			
		関	思	技	知
は じ め	<p>○バレーボールに関する基礎知識を身につけ、ボールの特性を理解しよう</p> <p>1 オリエンテーションを通して学習の進め方を知る。</p> <p>2 バレーボールの歴史、特性、ルールを理解する。</p> <p>3 ボール運動を通して、ボールの特性に慣れる。</p>	②	②		
50 分 × 2				③	①
な か	<p>ねらい①</p> <p>○バレーボールの基本技能を身につけよう</p> <p>○グループでボールを繋げるようにしよう</p> <p>1 アンダーハンドサーブ、アンダーハンドパス、トス、アタックを身に付ける。</p> <p>2 グループで課題を見つけ、課題克服に取り組む。</p> <p>3 簡易なゲームができるようになる。</p>			③	
50 分 × 3					③
な か	<p>ねらい②</p> <p>○味方と連携し、攻守の幅を広げよう</p> <p>○リーグ戦に向けてチーム毎に練習に取り組もう</p> <p>1 三段攻撃を練習し、ゲームの中で実践する。</p> <p>2 味方や相手の動きに合わせて攻撃や守備を選択する。</p> <p>3 自己やチームの課題に応じた練習を実践する</p>			②	
50 分 × 3				①	②
ま と め	<p>○リーグ戦を通して勝敗にこだわる楽しさを知ろう</p> <p>○自己の役割を主体的にこなし、試合運営について学ぼう</p> <p>○チーム目標達成のために、課題設定や練習の実践をしよう</p> <p>1 役割を決定し、リーグ戦を実施する。</p> <p>2 各役割を主体的に行い、円滑な試合運営をする</p> <p>3 チームの状況に応じて作戦や戦術を工夫する</p>				
50 分 × 4		③	①		
		④	③		
					③

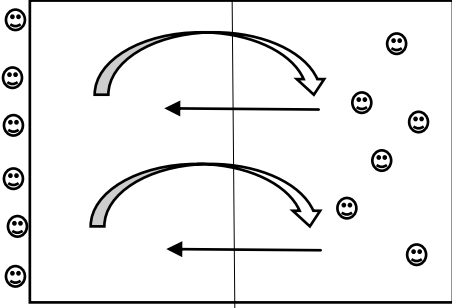
6 本時の学習

(1) 本時のねらい

○アンダーハンドパス、アンダーハンドサーブができるようになる。

(2) 展開 (4/12)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点, 方法
はじめ 15分	1 集合・整列・点呼 2 準備体操 (県民体操, 体育館内ランニング)	<ul style="list-style-type: none"> ・けがのないように, 意識して準備運動を行うように指示をする。 	
	○ アンダーハンドパス, アンダーハンドサーブでボールを繋ごう		
	3 集合・説明 4 グループピング (6~7人) ・能力に偏りがないように協力してチームを編成する。 ・グループができたらメンバーを学習カードに記入する。 5 コートを作成する。 (3コート)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の説明を行う。 最終的にリーグ戦をするので, そのためのグループ編成を行った後, 基本的な技能の練習をすることを伝える。 ・能力に偏りがないように助言しながら, 生徒の自主性に任せグループピングを行う。 	
なか 27分	6 集合・説明 7 各コートに分かれてチーム毎に練習する。 ○アンダーハンドパス ① 2 or 3 人組 ② チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の説明を行う。 ○アンダーハンドパスについての留意点 膝の動きと連動させて両腕を押し出す。ボールの正面に移動する。 ① 2から3人組でパスの練習を行うよう指示する。  <ul style="list-style-type: none"> ② チーム全員で円になって, ①②それぞれ回数目標を設定したり, ワンバウンド可などのルールをつけたりするよう指示をする。  <ul style="list-style-type: none"> ◇戸惑っている生徒やうまくいかない生徒へ個別でアドバイスする。 ・不要なボールは片付けるか, 隅に置くように指示 	<p><運動の技能③> (学習時の観察)</p> <p><運動の技能③> (学習時の観察)</p>

	<p>8 集合・説明</p> <p>9 各コートに分かれてコート毎に練習</p> <p>○アンダーハンドサーブ</p>	<p>をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットや他人にぶつからないように周囲に気を付けるように指示をする。 <p>○アンダーハンドサーブについての留意点</p> <p>左足を1歩踏み出す。</p> <p>サーブ方向に腕を振り上げる。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・安全面の配慮からサーブを打つチーム，ボール拾いのチームに分かれ，一定時間で交代するように指示をする。 ・拾う側はネットの下を転がして返球するように助言する <p>◇戸惑っている生徒やうまくいかない生徒へ個別でアドバイスする。</p>	<p><運動の技能③> (学習時の観察)</p>
<p>まとめ 7分</p>	<p>10 片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コート ・ボール <p>11 集合・整列</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用具を元あった場所に確実に片付けるように指示をする。 <p>本時のまとめ</p> <p>けがや体調不良の確認をする。</p> <p>次回の連絡</p>	

◇は努力を要する状況にある生徒への手だて